

村山俊太郎 むらやま しゅんたろう 生活綴方運動家、児童文藝者、歌人。明治二十八年七月十七日福島県岩瀬郡須賀川町生れ、昭和二十二年十一月九日歿（一九五一年四月）。筆名島木和夫、宮城みち子。大正十五年山形師範學校本科卒。次ぐ昭和二年專科卒。この間、山形童謡協會を創設し、雑誌『童謡』を創刊。四年國分一太郎、渡邊信八郎等と歌謡『いひたま』を創刊。翌年小砂江忠義の雑誌『綴方生活』同人に推される。七年教育組合結成の兼で検挙、起訴猶豫とほると小學校教員を免職。翌年、『月刊山形』記者、のち學藝部長。十年北日本國語教育聯盟を結成し、機關誌『教育・北日本』を創刊。また、『生活童謡』の理論と實踐』を著し、翌年曲原慶一の紹介で啓文社より出版すると、十五年に至り發禁処分を受く。同時に生活綴方教育彈壓で検挙、翌年治安維持法違反として實刑。戰後小學校教員に復職。山形縣東村山郡教員組合委員長となる。一七一年須藤克二と歌謡『波紋』を創刊、更に宮城みち子の筆名で童謡や書いいた。

遺稿集『北方のとしが』（昭和二十一年八月一日山形県児童文化研究会編輯）。

